

## シグマ委員会炉定数専門部会議事録

日 時 5月2日 午後1時30分～17時30分

場 所 原研本部第2会議室

出席者 坂田（PNC），永山（原電），菅原，関（MAPI），大竹（富士）  
松延，川本（住友），水田（NAG），中村（京大），西村，  
西村（秀），吉田，平田，後藤，石黒，五十嵐，土橋，桂木（原研）

配布資料 1. 炉定数部会 45年度計画（案）

2. 熱中性子断面積の編集と比較

3. 第3回中性子断面積研究会（案）

議 事 1. 44年度経過報告

a. 高速炉用炉定数の現状 （桂木）

b. 高速炉用炉定数評価作業の現状 （〃）

c. 熱中性子炉用高速群炉定数作成の中止 （〃）

d. 熱中性子炉用FP炉定数の現状 （坂田）

e. 熱中性子炉用熱中性子断面積の比較 （土橋）

2. 45年度計画

資料1にもとづき45年度計画が討議された。

a. 炉定数およびコードの現状評価は原案の趣旨通り実施することになり，Working Groupをつくり，そこで具体案を立て実施することになった。W.G.メンバーは後日連絡して定める。

b. Mechanical Evaluationについては資料を配布して後W.G.を編成し，説明会を行い，具体案を作る。

c. 高速炉用FP炉定数に関してはW.G.を作り，核データ情報，評価部会のW.G.との協力について検討することになつた。

F P炉定数の概念は F PW . G 内で行う。

- d. 热中性子炉用 F P は今年度は F P炉定数の適用性の検討を行うこととし、今年前半に活動に終止符を打つ方向で考えることになつた。
- e. U K から 1970 年版データが入手された（ F C A 飯島氏を通して）のでその評価を考慮することになつた。必要であれば予備金を申請してはといふ意見も出された。

### 3. 第 3 回中性子断面積研究会の計画

非均質効果に関するテーマを加えるべきであるとの意見が出された。

（この計画は種々の事情により 1 時延期することになろう。

10月末 or 11月）